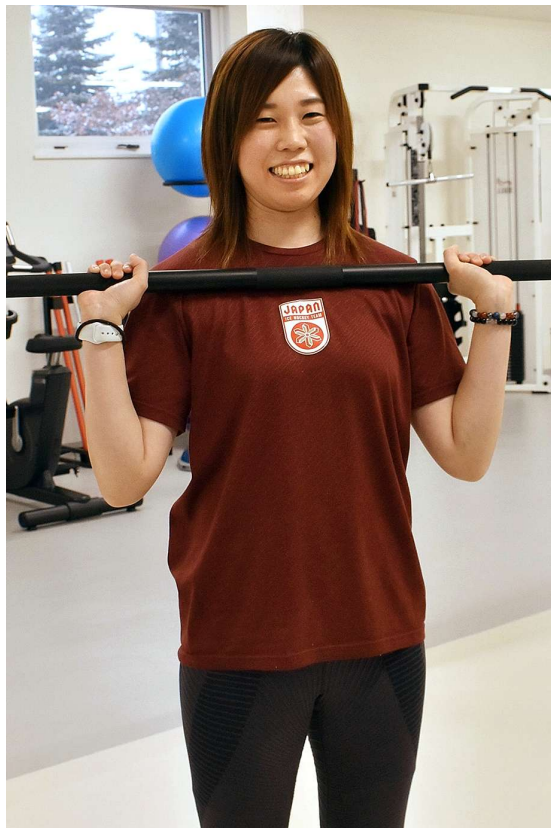


女子の入部認めてくれた



北京五輪を見据え、帯広の医療機関で働きながらアイスホッケーに打ち込む近藤さん

2011年に普通科福祉コースを卒業しました。当時は江陵が管内の高校で唯一、アイスホッケー部に女子が入ることを認めてくれていました。男子部員とともに陸トレに励み、合宿では明野ヶ丘スキー場を下から逆走したのを覚えています。女子U-18日本代表に選ばれたのは部活のおかげだと思っています。現在は帯広クレインズアイスに所属しています。

高校は部活と、当時所属していたチームの練習もあり、友達と遊ぶ時間がほとんどありませんでした。そんな中、テスト最終日の放課後に、自転車と友達に出場し、メダルを目指したいです。

平昌オリンピック
アイスホッケー代表

近藤真衣さん(28)

サッカー部の成長を体感



高校時代を過ごした幕別で町民のために汗を流す千葉さん

サッカーの特待生として入学し、高校生活では部活が一番記憶に残っています。校内が荒れていた時代に練習に来ない部員もいましたが、3年生の時に外部コーチが赴任し、戦術について話し合う中で、真面目に練習に取り組んでいた1、2年生を主力に据えることができました。チームの成績が良くなっていき、その年の高体連と高校サッカー選手権で十勝のベスト4に入りました。

高校卒業後は民間企業に就職しましたが、帯広市役所で働く友達の影響で公務員を目指すことに。十勝総合振興局で働き、長い人生のうちの3年間は短いですが、高校時代は良いことも悪いことも含め濃い時間でした。(幕別清陵高校に)名前が変わっても、大きく発展していつともえられそうです。

幕別町役場 千葉真輝さん(27)

思い出色あせない わが江陵

多くの「初めて」挑戦した



「江陵に入ったことで、たくさんの経験ができた」と語る加藤さん

福祉コース1期生

加藤勇輝さん(31)

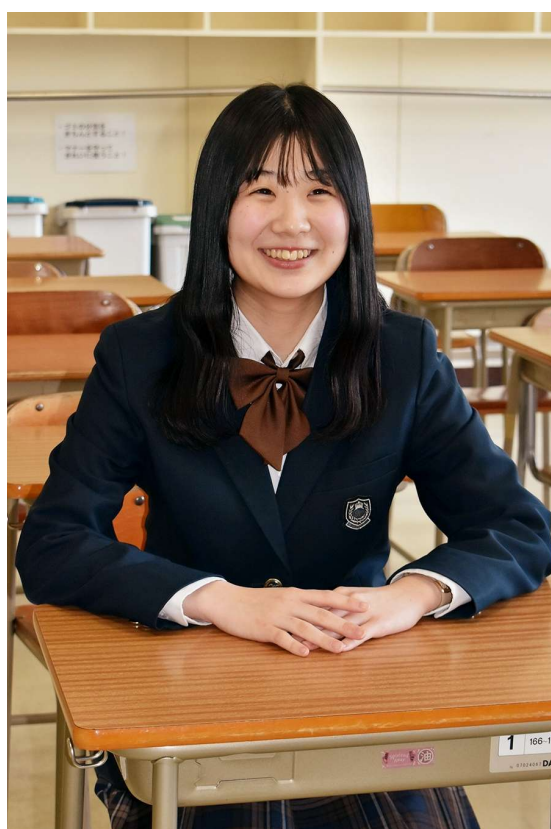
福祉コースの1期生として入学しました。実習のことなどやること全てに前例がなく、道しるべがない中で先生方にはよく相談に乗っていただき、自分たちも「頑張らなくちゃ」と過したことを覚えていました。

札幌東中学校時代、将来はお年寄りに関わる仕事がしたいと考えていたところ、先生から「地元で新しくこんなコースができるよ」と教えてもらい、進学を決めました。高校生活はボランティア活動したり、生徒会長を務めたりと忙しくも楽しかったです。学校祭に向けて友達同士遅くまで学校に残ってあんどん作りなど準備をしたことはとても思い出です。

勤めている札幌内務は、学生時代に実習でお世話になりました。今では先輩を受け入れる側となり、うれしく懐かしい思いです。

江陵高校ではたくさんの「初めて」にチャレンジしてきました。だからこそ今も仕事で挑戦する気持ちを持つことができていると思います。

合同学校祭一つになれた



最後の生徒会長として1年半奮闘した北山さん

四つ上と五つ上のいことが江陵高に通っていて、中学生の頃に学校祭のバフォーマンスを毎年見に行っていました。とても楽しそうで江陵高を進学先に選びました。

1年生の後期に生徒会に入り、2年生の10月から生徒会長を務めています。2年生の学校祭は、幕別清陵との初の合同学校祭で大変なこともありましたが、最後はまとめることができました。

今年最後の1年なので、学校祭も「これまでとは違つことをやりたいね」と話してきたのですが、新型コロナウィルスなどを企画できたらしいです。

中学生の頃からウエディングプランナーを目指しており、卒業後は帯広市の冠婚葬祭の企業に就職します。コロナ禍で結婚式を挙げられなくても、イベントなどを企画できたらしいです。

最後の生徒会長 北山星音愛さん(18)

恩師の姿理想に教員志す

幼稚園からアイスホッケーをやっており、スポーツ特待生として2009年4月に入学しました。1、2年生の時に全国大会に行き、2年では試合にも出場しました。

3年間担任だった若狭隆志先生は生徒のことを第一に考えてくれる先生で、教員を志すきっかけとなりました。大学時代に教員採用試験に落ち、学習塾への就職が決まっていたのですが、若狭先生から江陵で採用があると連絡があり、即決しました。

16年4月に新卒で社会科教諭として着任しました。2年目で担任を持たせてもらいました。



江陵時代の担任の影響で教員を志し、母校で教員となった傳法さん

江陵高教諭

傳法颯介さん(27)

でんぼう

福岡ソフトバンクホークス

優人 古谷
投手(22)

2016年に福岡ソフトバンクホークスから2位指名を受け、江陵初のプロ野球選手となった。

入学した14年春からエース格としてマウンドに立ち続け、鋭いスライダーを武器にライバル校を撃破。3年時には速球の威力が一気に増し、夏の北北海道大会では最速154km/hをマークした。



①飛躍が期待される福岡ソフトバンクホークスの古谷優人投手(2020年) ②江陵高のエースとして活躍した古谷投手(2016年)